

N1	は	N2	より	A
				AN
				V

基 本

例 文

- ① ^{ことし なつ}今年の夏は、^{きょねん なつ}去年の夏より^{あつ}暑いですね。
- ② A: ^{じんじゃ}この神社は、^{ひと おお}人が多くて、にぎやかですね。
 B: ええ。でも、^{しょうがつ いま}お正月は、^{ひと おお}今よりもっと人が多いですよ。
- ③ A: ^{からだ くあい}体の具合はどうですか。
 B: ^{きょう}今日は、^{きのう}昨日よりいいです。
- ④ A: ^{あたら}新しいデジタルカメラはどうですか。
 B: ^と撮った写真が^{しゃしん}モニターで^みすぐ見られるので、^{べんり}ふつうのカメラよりずっと便利です。
- ⑤ A: ^{てら}このお寺は、^みさっき見た^{てら}お寺より^{ふる}古いですか。
 B: ^{てら}いいえ、さっきのお寺の^{ふる}ほうが古いです。
- ⑥ ^{きょう}今日はいつもより^{みち}道が^{はや}すいていたので、^つ早く着きました。
- ⑦ ^{ぶっきょう}仏教は、^{きょう}キリスト教より^{はや}早く^{にほん}日本に^{つた}伝わりました。

A. N1 について N2 との比較で説明するときを使う。(例文①～⑦)

B. 「より」は N2 が比較の基準であることを示す。(例文①～⑦)

C. 文末の A / AN / V には、以下のようなバリエーションがある。

A / AN : N が A / AN (例文②)

V : 状態性の動詞「V ている」(例文⑥)

A < / AN に / 副詞 + V (例文⑦)

D. N1 についてたずねるときは、「N1 はどうですか」や「N1 は A / AN / V か」などを使う。

(例文③～⑤)

先生へ

三つ以上のことがらを比較して、その中でいちばん程度が著しい N1 について述べるときは、「N1 は N2 でいちばん A / AN / V」(N2 は N1 の比較対象となる範囲)を使う。

例 冬至は、一年でいちばん昼間の時間が短いです。

「N1 は N2 より N3」(N3 は程度性をもつ名詞) という文型もあるが、ここでは扱わない。

例 田中さんは山田さんより努力家です。

「より」は助詞。

「より...ほう」(p.192) との違いを明らかにするために、N1 が主題であることがよくわかる状況の文で練習したほうがよい。

【関連項目】

文-61 より...ほう

【「れんしゅう編」の練習】

16-1 日本とくらべる

16-7 歌舞伎